



あなたもぜひ、
参加してください

みんなの つくろう！ ステキな木のおうち

建設資金の寄付とアイデア募集中！

ステキな木のおうちニュース

No.13

発行日：2017年3月1日

発行者：〒191-0062 東京都日野市多摩平 4-3

(公財) 社会教育協会日野社会教育センター

現在の募金総額
2/22現在 246名+募金箱
¥16,332,744-
ご協力ありがとうございます。

日野社会教育センター 2017年度の 運営について

2017年度4月より、新館にて事業開始予定で、みなさんにお知らせをしておりましたが、前号でお知らせした通り、現在新館移転計画の見直しを行っておりです。それに伴い、2017年4月からの実施事業については、今年度に引き続き、現在の場所で行い続けます。引き続きどうぞよろしくお願いたします。

日野社会教育センター 新館建設にご寄付のお願い

日野社会教育センターの新館建設は、国からの助成金(2億円)がゼロという結果を受け、資金計画の縮小で、計画を見直すこととしました。しかしまだ、資金不足の状況であり、本協会としてもセンター設立当時ご寄付をいただいた方も含め、さらに幅広くご寄付のお願いを続けて行っております。重ねてお願いをさせていただくとともに、お話を広めていただきたく、ご理解、ご協力をお願いいたします。

1月15日(日) 新春の集い開催

1月15日(日)に、日頃から日野社会教育センターを応援していただいている皆さんに会場していただき、新春の集いを行いました。

職員の前口翼のピアノ演奏でオープニングし、社会教育協会黒水理事長から新年のあいさつとともに『新館建設』の報告、大坪日野市長、西野市議会議長、新井都議会議員からの新春のあいさつをいただきました。そして、センター賛助会世話人の小林さんのあいさつ&乾杯と進みましました。その後は、歓談を挟み、参加者皆さまのご紹介へと続きました。当日は、総勢六十名を超える方々にご来場いただき、一部の賀詞交歓会、二部の第2回市民フォーラム「人が育ちあう地域(ま)づくり」報告、あう地域(ま)づくり、三部の交流会と賑やかに、そして、これからの日野社会教育センターへの想いを大いに語り合った新春の集いとなりました。

第2回 市民フォーラム 「人が育ちあう地域(ま)づくり」報告

第2部の市民フォーラムは、29名の参加があり、前回(10/23)の報告を行った後、センターと関わったきっかけ、関わって感じたこと、想いなどを皆さんに伺いました。今回は、理事・講師・利用団体の方、お子さんがセンターに通われていた方、参加者からリーダーになった方、リーダーから保護者になり関わっている方、関係企業の方、など前回に増して様々な方の声を聞かせていただくことができました。「こんなに大勢の方が様々な活動をしていることを初めて知った」「今日出会った若い方の考え方は素晴らしいと思う。」「学生の教育の賜物と思う。」「学生たちがより活動しやすい仕組みをつくり支援を行っていった方がよい。」「センターでの講師の経験が自身の地域での活動にも活かされている。」「5年後、10年後、また帰ってこられる場所であることが願いたい」「社会貢献的な何かをした企業とうまくリンク



▲市民フォーラムの様子

クできたら」などの声をいただくことができました。荒井先生(首都大学東京)のまとめでは、『教育』はどんな時代にも、どんな国にもあって、前の世代と次の世代をつなぐ役割を果たす。では、『教育』を、「センター」をどうやって支えていくか。3つの要素がある。一つめは「どういうカリキュラムをつくるか」ということ。それは形ではなく思想で、今日話し合ったひとつひとつが教育実践。それをカリキュラム化すること。二つめは「それを支える財政的なしくみ」。三つめは「これらを支える職員が安定的に働き続けられること。』とお話いただきました。今後はいただいたみなさんの声をもとに、学習会やカリキュラム作りなどを行ってまいります。

「韓国ブルム学校」を学ぶ

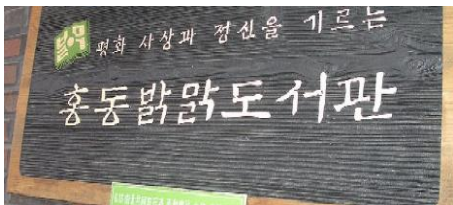
自由に学び
文化・芸術を享受することが大切

「日野社会教育センターサポーターズ」は映画（アムステルダム美術館）村上バンドジヤズコンサート（2回開催）を開催し、今回の取り組みで4回目の事業開催となります。

韓国忠清南道（ちゅんちよんなんむど）の農村地帯、洪東面（ほんどんみよん）にあるブルム農業高等技術学校等の実践について取り上げた企画です。「韓国ブルム学校」の教育実践を大東文化大学名誉教授で研究の第一人者、尾花清氏を招き3回の講座を行いました。講座では、韓国の歴史、教育体制から始まり、現在までの韓国の社会、教育の状況を学びました。「ブルム学校」は、1950年代からデンマークのフォルケ・ホイスコールから学び、国の管理ではなく設置されました。カリキュラム創りなど地域の農民と共に考えられ、運営されてきていました。1990年代から国の教育法制がかわったことなどにより、公的な高校の単位として認められることになったのです。国の管理の厳しい韓国の教育制度の中で、教育のあるべき姿を自分たちのスタンスで追及し、独自のカリキュラムを持ったブルム学校が公的な学校として認められたということが今後の韓国、その他の国の教育を考える上で重要ではないでしょうか。様々な機会と一緒に学びませんか？

これからも「学びたいこと」「楽しみたい文化・芸術」を日野社会教育センターと一緒に実現していきたいと思えます。

日野社会教育センターサポーターズ



▲たずねた学校の看板



▲学習会の様子



▲合鴨農法の水田で働く学生

新館応援イベントのお知らせ

日ごろセンターで子どもたちと体験活動を楽しむ大学生や社会人のボランティア（通称「リーダー」）の有志が月に1回集まって「ひのりす会」という名前の会を組織し、新館建設を楽しみながら応援するイベントを企画実施しています。これまでも全館を使った「おぼけやしき」、バザーの時に開いた「ゲームコーナー」等、毎回斬新なアイデアで盛り上がっています。

今回はセンターを使って子ども祭り、その名も「リーダーまつり」を開催予定。子ども縁日など、またリーダーのアイデアをフルに使った計画が進行中です。

3月20日(月)春分の日（13時～16時）に開催します！ぜひ、皆さんも遊びにきてください！

寄付者ご芳名 敬称略・五十音順

1/12 2/22 にご寄付いただいた方 ※都合によりお載せしていない方もいらっしゃいます

横川健二、村松輝夫、多摩平卓球サークル、曾根学、山崎ゆかり、他匿名希望の方3名。ご協力いただきありがとうございます。

ありがとうございます!!



＝新館建設資金ご寄付のお願い＝

現在、新館建設に向けて、皆様からのご寄付をお願いしております。新館をより充実したものとすため、1億円目標で寄付をお願いしております。

《振込先》

□座名 義 財 社会教育協会 日野社会教育センター
□座番号 00180-8-790966

※通信欄に募金と記入ください

《寄付控除について》

個人が公益財団法人に寄付した場合、翌年に確定申告をすることにより税額が控除されます。

《「公益社団法人等寄付金特別控除額」の計算》

(寄付金額-2千円)×40%=税額控除額
(100円未満の端数は切り捨て)

※但し、控除率は寄付金額の40%、控除上限は所得税額の25%です。

寄付控除を受けるには以下の書類の提出が必要となります。

- ①公益財団法人が発行する当該寄付金受領証明書
- ②ご本人が作成する税額控除申請書

たくさんの方で、「みんなのステキな木のおうち」を実現できるよう皆様のお力をお貸し下さい。

